

エコ新田「みらい」

発行元・ URL : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

太田市2012環境フェア開催される

期 日 平成24年11月11日(日) 9時～16時

会 場 太田市新田文化会館・総合体育館(エアリス)

今年も恒例の環境フェアが開催され屋内会場にて、「NPO 法人新田環境みらいの会」は、「環境に美しいまちづくり」をメインテーマに参加致しました

- 1・日頃保全活動を重ねてきた貴重な湧水地の紹介と、湧水地をとりまく生物多様性の必要性を来場のみなさまに呼びかけました。・特に「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に認定されました事の紹介。
- 2・ごみの削減や美しい景観を残せるよう、クリーン作戦等しながら、資源ごみの大切さと不法投棄などない美しいまちづくりを展示品で紹介いたしました。・太田市景観ボランティア団体としての活動紹介。
- 3・みらいの子供たちが環境問題に取り組む「生品小学校土曜スクール」活動紹介。
- 4・その他、活動状況紹介いたしました。



環境フェア屋内会場風景



新田環境みらいの会・展示会場



子供たちでにぎわったマイバックづくり



朝から盛況だった「新田環境みらいの会」ブース

生品小学校土曜スクール(環境)開催

日時 平成24年10月20日(土)
開催場所 金山周辺



金山城跡コース見晴らし台の子供たち

今年度第四回目の土曜スクールは、太田市金山周辺の自然観察会が行われました。金山ガイダンスで金山の歴史、生き物の勉強をした後、金山城跡を見学しました。子供たちは元気に山登りを楽しみ、昆虫や木の大きさや、木の葉の形を課題に楽しみました。今日は上毛新聞の記者さんも、小学生の環境の取り組みのため同行取材し、子供たちにインタビューをしておりました。



11月11日上毛新聞掲載記事です。

日時 平成24年11月17日(土)
開催場所 太田市リサイクルセンター見学

第五回目の学習会は、太田市リサイクルセンター見学会をおこないました。センターのお姉さんにセンターに収集されてくるごみとされる資源ごみの大切さ学びました。《捨てられたらゴミ・選別回収できたら資源》残念ながら当日は土曜日のため、センター内作業は稼働しておらず、説明してくれたお姉さんのコース説明で子供たちは大変な仕事の理解は出来たようでした。ありがとうございました。



リサイクルセンター視聴者教室で説明を受けました。



リサイクルセンターの見学会実施

金山赤松下草刈り

平成24年10月27日（土）9時～

太田市金山に生育する、赤松を守るため「赤松オーナー制度」に「新田環境みらいの会」では、6本の赤松を登録しております。登録の赤松には当会の名前が掲示されており、今回も秋の下草を刈り取りました。思いのほか草は伸びていませんでしたが、足元が急坂に成ったように感じられたのは、自分が年をとった証かも知れません。参加者6名でしたがみなさん気持ちの良い汗を流してくれたようです。最後には看板の確認し終了致しました。次回は来春に成ると思いますが皆様の協力宜しくお願い致します。



赤松下草を刈り取るみなさん



表示看板の確認中

新田文化会館(エアリス)周辺クリーン作戦参加

平成24年10月6日（土）6時30分～

集合場所：エアリス玄関前、

毎年エアリス主催の早朝クリーン作戦が4回/年、実施されております。対象は新田地区内のコミュニティ広場（公園）等です。「新田環境みらいの会」では、エアリスを集合場所として、文化会館周辺の清掃活動の協力しております。今回は6名でしたが、朝の気持ちよい時間を過ごせました。

不法投棄のポイ捨て状況は少なくはなっているようですが、まだまだのようです。次回からも予定をしますので、みなさんのご協力お願い致します。



エアリス駐車場付近をクリーン作戦中



集まった収集物はシッカリ選別

環境省モニタリングサイト1000里地調査一般サイトに内定

自然環境のモニタリング調査を全国約200ヶ所で行なっている環境省の国家プロジェクトで今回「矢太神沼とその周辺」が追加登録地に内定されました。詳細は次号でお知らせします。

日本生態系協会から湧水池保全についての技術指導を受ける

実施日 平成24年11月27日 午後1時から4時
場所 事前説明 綿打行政センター
現地 矢大神水源と下流水路、谷地池と下流水路
指導者 日本生態系協会：安東主任研究員、村上主任研究員
当 会 西村理事長、神岡副理事長、高井理事、赤穂理事、石原さん、外崎さん

【指導頂く趣旨】

水と緑のネットワーク拠点百選に選定された将来に残したい湧水池を中心に、下流水路などの自然環境や風景、またこれらの人とのかかわり・つながりを考え、自然を保全・再生するための課題や対策方法について技術指導をしていただいたものです。

【提言された主な内容】

- ◎ 対象地はおおむね良好な自然環境が保たれている。
- ◎ 保全・再生のための整備は、これ以上必要ないのでは。
- ◎ 谷地池の侵略的特定外来種ワースト100に入っているオオフサモは根絶が必要。
- ◎ 保全活動にあたって、予め次のような内容について保全計画を定めこれに沿って実施することが望ましい。

☆ 生物多様性の保全からみて

- ・ 保全目標を明らかにする。 保全対象物、保全方法
- ・ 保全するための役割、分担をきめ出来るところから実施する。

☆ 憩いの場、景観の保全、自然環境の学習の場の確保からみて

- ・ アプローチの確保方法
- ・ 案内版の整備 付近の生物の説明、施設の説明
- ・ 除草及びゴミ清掃の継続



対象地域の現状説明や課題について、現地調査の前に意見交換を行った。



湧水池など現地をみながら保全についての指導を受ける。

今後は指導して頂いた内容を基に保全計画案を作成し、環境みらいの会として行政や関係者に働きかけていきたいと考えています。

赤穂 俊作 記

会報「エコ新田みらい」の原稿、ご意見は西村理事長及び、広報担当まで連絡宜しくお願い致します。
広報担当 連絡先 椎名 美雄 「E-mail:shiina_y@cameo.plala.or.jp」